

8. 預貯金のみ保有層の証券投資に関する意識

- (1) 性別（F 1）
- (2) 配偶者の有無（F 3）
- (3) 職業（F 4）
- (4) 主な収入源（F 5）
- (5) 税込み年収（F 6）
- (6) 購読新聞（F 7）
- (7) 住居（F 10）
- (8) 金融商品に対する重視点（問 6）
- (9) 株式購入理由（問 37）
- (10) 投資信託購入理由（問 44）
- (11) 公社債購入理由（問 50）
- (12) 【株式保有未経験者】株式非購入の理由（問 39）
- (13) 【投資信託保有未経験者】投資信託非購入の理由（問 46）
- (14) 【公社債保有未経験者】公社債非購入の理由（問 52）
- (15) 証券投資知識の習得内容（問 17）
- (16) 証券投資知識の習得方法（問 18）
- (17) 証券投資全般のイメージ（問 21）
- (18) 証券会社のイメージ（問 27）
- (19) 「未公開株・社債などの詐欺」の認知度（問 24）
- (20) 「証券取引等監視委員会」の認知度（問 25）
- (21) 「日本投資者保護基金」の認知度（問 25）
- (22) 「日本証券業協会」の認知度（問 25）
- (23) 「東京証券取引所」の認知度（問 25）
- (24) 「証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）」の認知度（問 25）
- (25) N I S A 認知（問 11）

注）前回調査からの継続性を踏まえ、「預貯金のみ保有層」の「預貯金」には「信託」を含みます。

(1) 性別（F 1）

- 預貯金のみを保有している層（以下、預貯金のみ層という）は、女性が過半数（55.2%）を占めるが、預貯金以外の金融商品を保有している層（以下、証券保有層という）は、男性が6割弱と高い。

図表 8-1 性別（F 1）

	n	男 性	女 性
全 体	7,000	48.2	51.8
預貯金のみ	5,163	44.8	55.2
預貯金以外の 金融商品あり	1,308	58.6	41.4
いずれも 持っていない	529	55.2	44.8

(2) 配偶者の有無（F 3）

- 預貯金のみ層に比べて証券保有層は、「配偶者あり」が8割弱と高い。

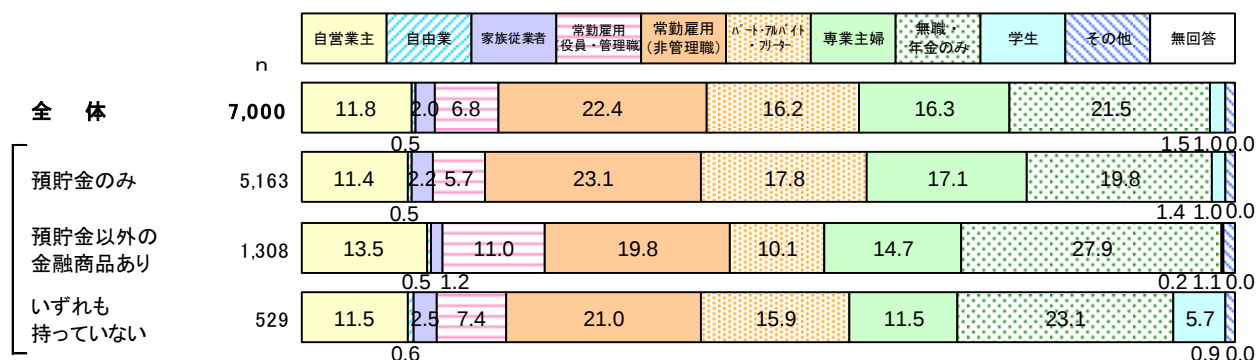
図表 8-2 配偶者の有無（F 3）

	n	あ り	な し	無回答
全 体	7,000	69.9	27.0	3.1
預貯金のみ	5,163	68.3	28.4	3.3
預貯金以外の 金融商品あり	1,308	79.4	18.7	1.8
いずれも 持っていない	529	61.8	33.1	5.1

(3) 職業 (F 4)

- 職業は、預貯金のみ層では、証券保有層に比べて「パート・アルバイト」比率が高く、「無職・年金のみ」比率が低い。

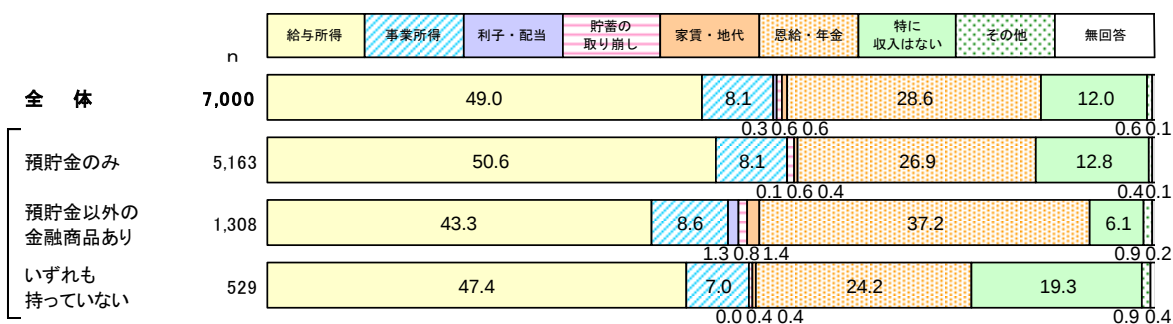
図表 8-3 職業 (F 4)



(4) 主な収入源 (F 5)

- 主な収入源は、預貯金のみ層で、証券保有層に比べて「給与所得」率が高く、「恩給・年金」比率が低い。

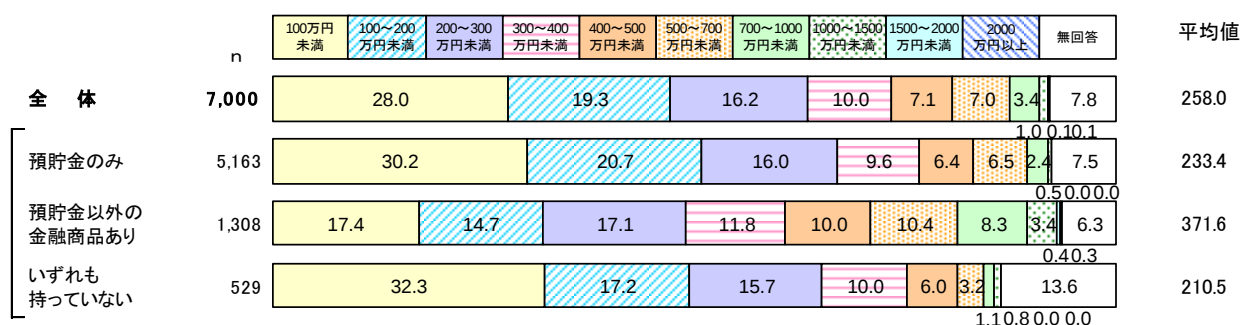
図表 8-4 主な収入源 (F 5)



(5) 税込み年収（F 6）

- 税込み年収は、預貯金のみ層で、証券保有層に比べて「100 万円未満」が高い。

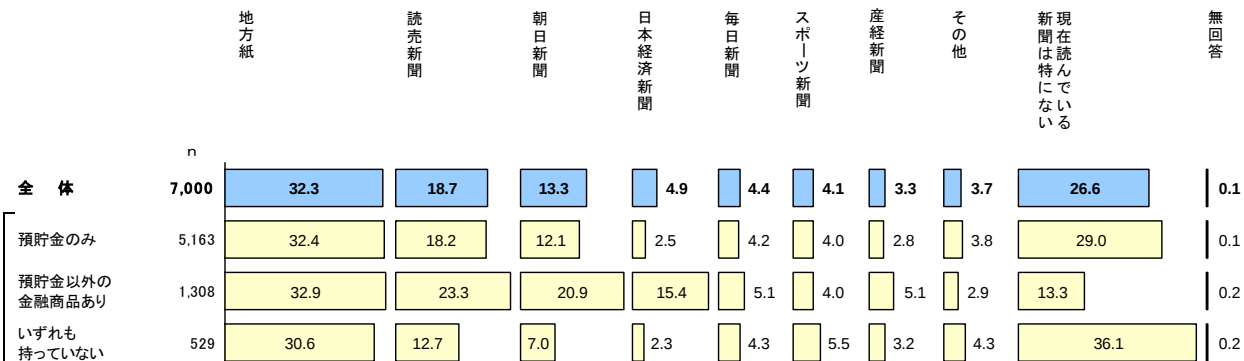
図表 8-5 税込み年収（F 6）



(6) 購読新聞（F 7）

- 購読新聞は、預貯金のみ層で、証券保有層に比べて「現在読んでいる新聞は特にない」が高い。

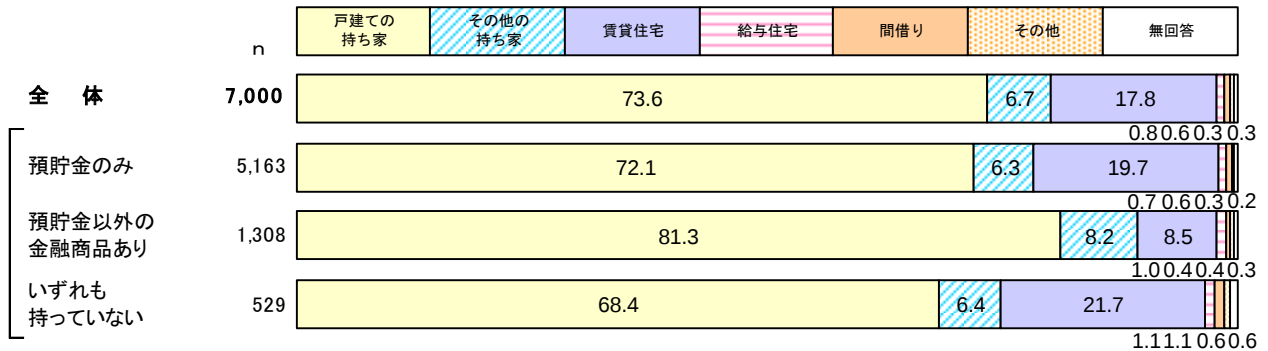
図表 8-6 購読新聞（複数回答）（F 7）



(7) 住居（F10）

- 住居は、預貯金のみ層で、証券保有層に比べて「戸建ての持ち家」比率が低く、「賃貸住宅（公社、民間など）」が高い。

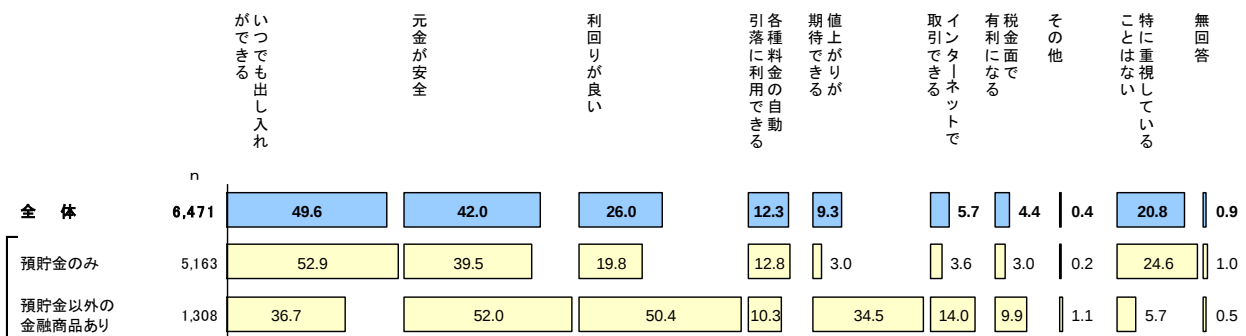
図表 8-7 住居（F10）



(8) 金融商品に対する重視点（問6）

- 金融商品に対する重視点については、証券保有層に比べて預貯金のみ層は、「いつでも出し入れができること」、「特に重視していることはない」が高く、「元金が安全なこと」「利回りが良いこと」、「値上がり期待ができること」、「インターネットで取引できること」は低い。

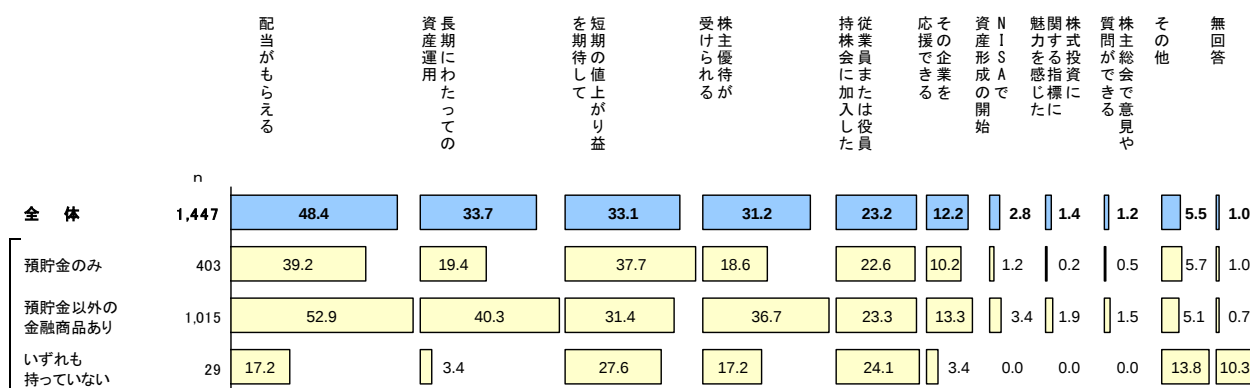
図表 8-8 金融商品に対する重視点（複数回答）（問6）



(9) 株式購入理由（問 37）

- 株式の現在保有者および以前保有者に対して、株式購入理由を尋ねたところ、証券保有層に比べて預貯金のみ層で「短期の値上がり益を期待して」が高い一方で、「配当がもらえるから」、「長期にわたっての資産運用として」、「株主優待が受けられるから」は低い。

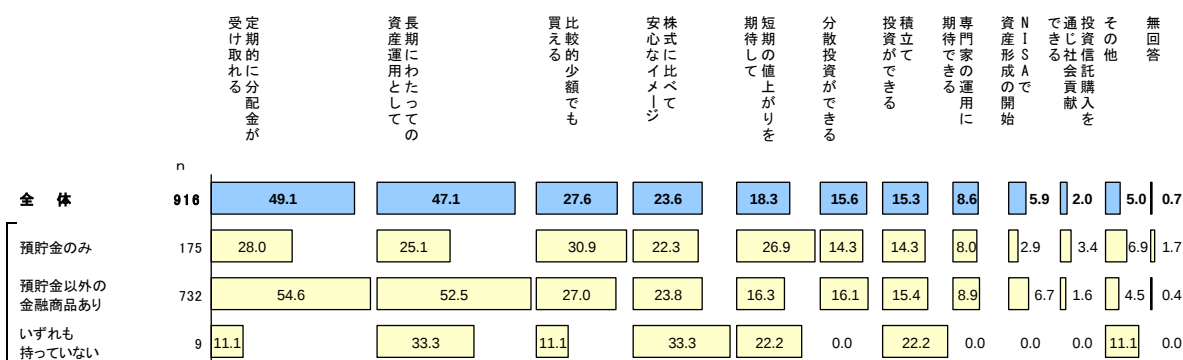
図表 8-9 株式購入理由（複数回答）（問 37）



(10) 投資信託購入理由（問 44）

- 投資信託の現在保有者および以前保有者に対して、投資信託購入理由を尋ねたところ、証券保有層に比べて、預貯金のみ層で「短期の値上りを期待して」が高い一方で「定期的に分配金が受け取れるから」、「長期にわたっての資産運用として」は低い。

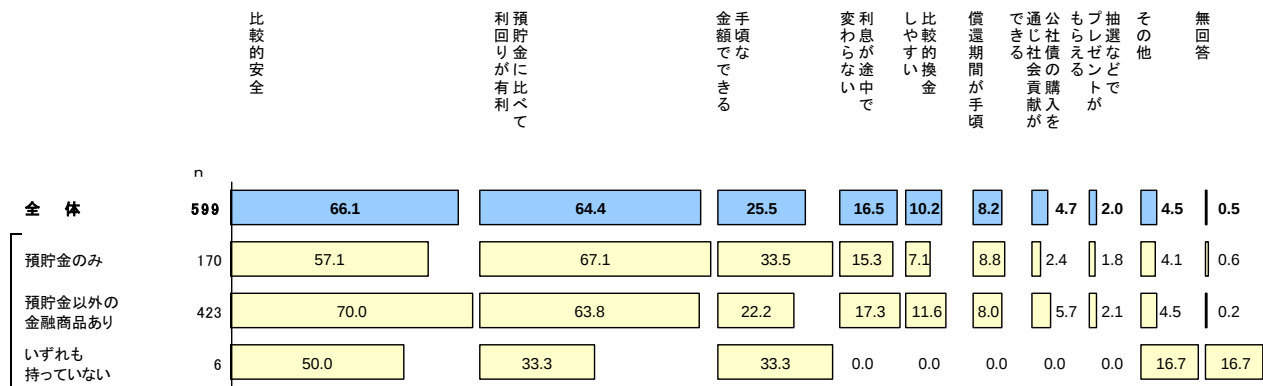
図表 8-10 投資信託購入理由（複数回答）（問 44）



(11) 公社債購入理由（問 50）

- 公社債の現在保有者および以前保有者に公社債購入理由を尋ねたところ、証券保有層に比べて、預貯金のみ層で「手頃な金額でできるから」が高い一方で、「比較的安全だから」は低い。

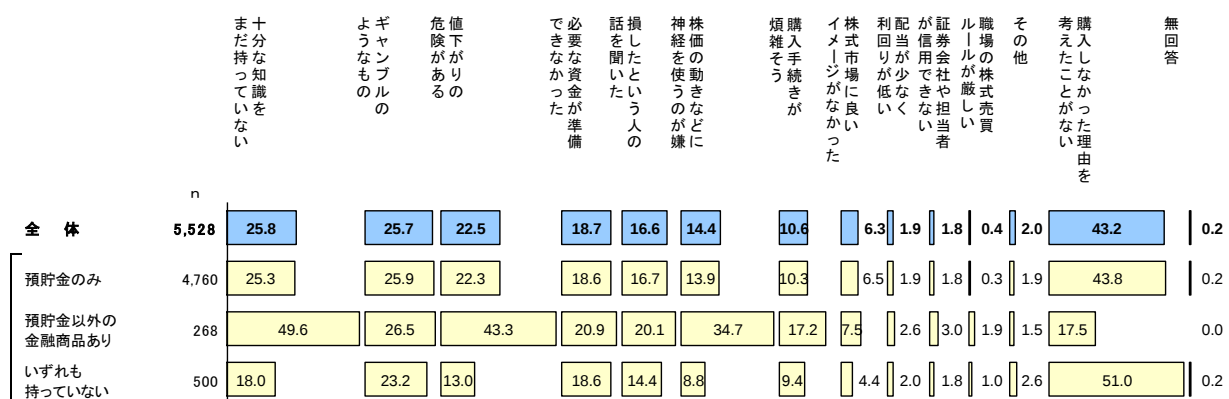
図表 8-11 公社債購入理由（複数回答）（問 50）



(12) 【株式保有未経験者】株式非購入の理由（問 39）

- 株式保有未経験者の株式非購入の理由については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では「購入しなかった理由を考えたことがない」が高く、「十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から」、「値下がりの危険がある（元本の保証がない）から」、「株価の動きなどに神経を使うのが嫌だったから」、「購入手続きが煩雑そうだから」は低い。

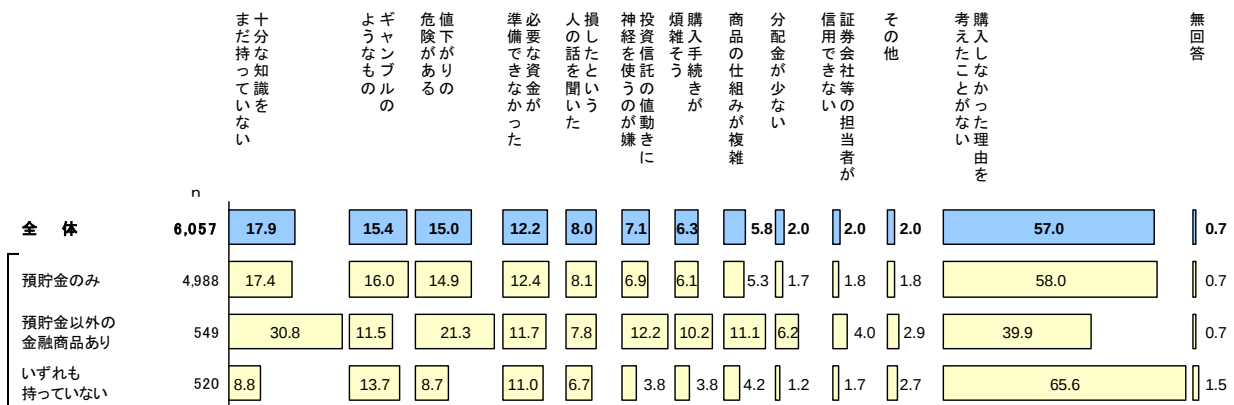
図表 8-12 【株式保有未経験者】株式非購入の理由（複数回答）（問 39）



(13) 【投資信託保有未経験者】投資信託非購入の理由（問 46）

- 投資信託保有未経験者の投資信託非購入の理由については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で「購入しなかった理由を考えたことがない」、「ギャンブルのようなものだと思ったから」が高く、「十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から」、「値下がりの危険がある（元本の保証がない）から」、「投資信託の値動きなどに神経を使うのが嫌だったから」、「商品の仕組みが複雑なため」は低い。

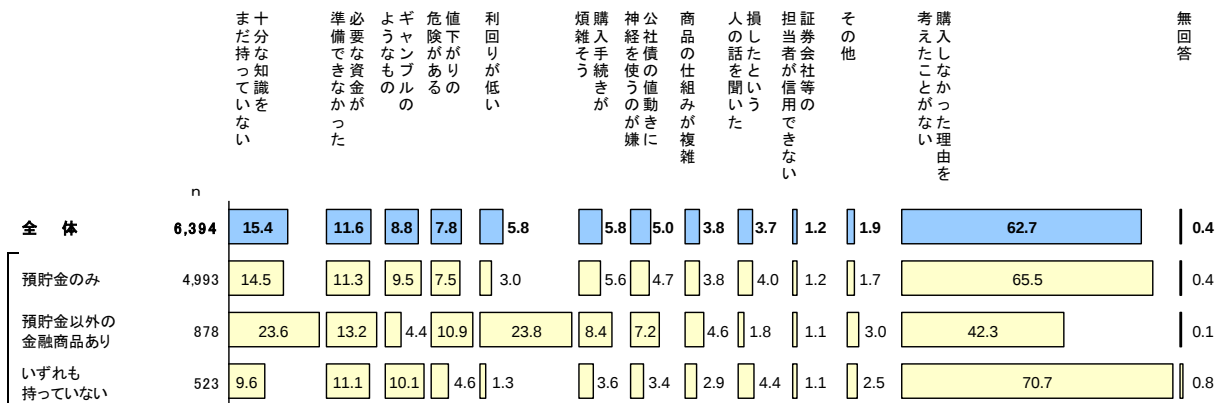
図表 8-13 【投資信託保有未経験者】投資信託非購入の理由（複数回答）（問 46）



(14) 【公社債保有未経験者】公社債非購入の理由（問 52）

- 公社債保有未経験者の公社債非購入の理由については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層で「購入しなかった理由を考えたことがない」、「ギャンブルのようなものだと思ったから」が高く、「十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から」、「利回りが低いから」は低い。

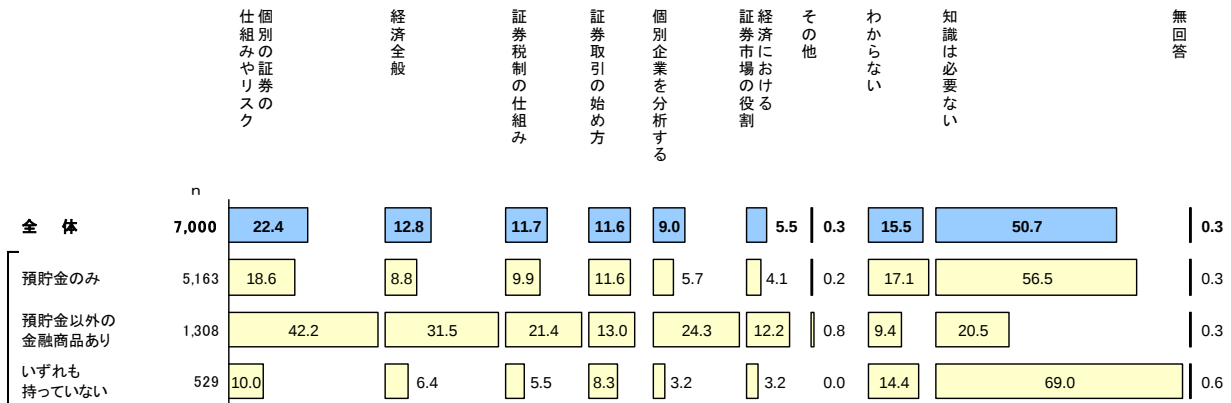
図表 8-14 【公社債保有未経験者】公社債非購入の理由（複数回答）（問 52）



(15) 証券投資知識の習得内容（問 17）

- 証券投資知識の習得内容については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層で「わからない」、「知識は必要ない」が高く、「個別の有価証券の仕組みやリスクに関する知識」、「経済に関する全般的な知識」、「証券税制の仕組みに関する知識（NISA を含む）」、「個別企業を分析するための知識」、「経済における証券市場の役割に関する知識」が低い。

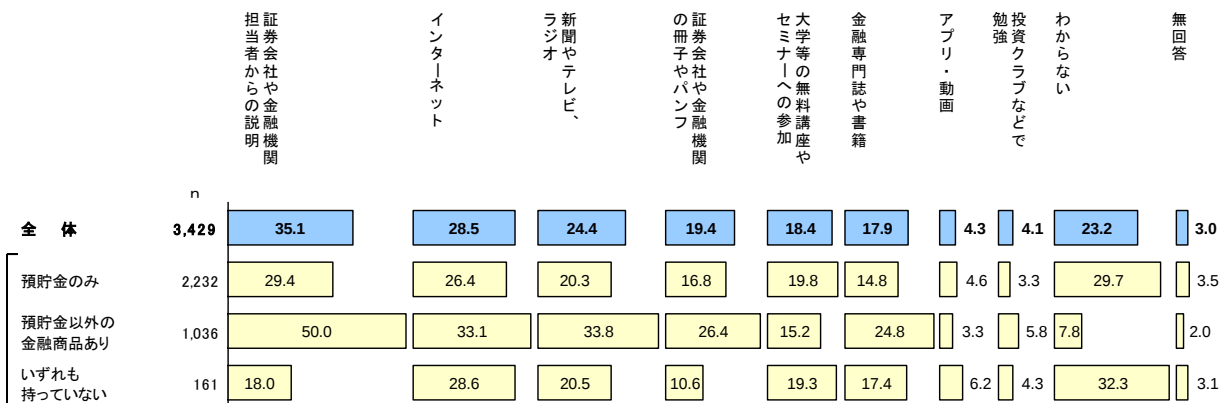
図表 8-15 証券投資知識の習得内容（複数回答）（問 17）



(16) 証券投資知識の習得方法（問 18）

- 証券投資知識の習得方法については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層で「わからない」が高く、「証券会社や金融機関担当者からの説明」、「インターネットからの情報」、「新聞やテレビ、ラジオからの情報」、「証券会社や金融機関の冊子やパンフレットからの情報」、「金融専門誌や書籍からの情報」は低い。

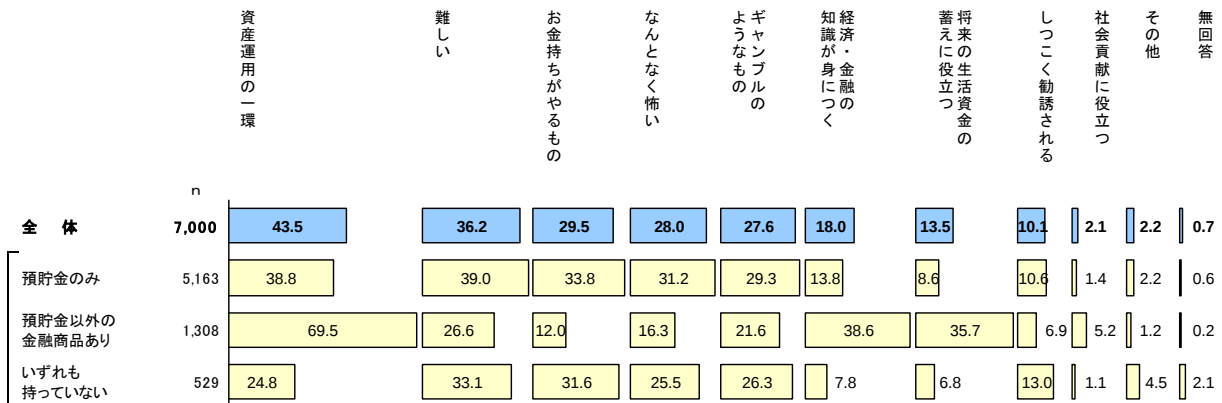
図表 8-16 証券投資知識の習得方法（複数回答）（問 18）



(17) 証券投資全般のイメージ（問 21）

- 証券投資のイメージは、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では「難しい」、「お金持ちがやるもの」、「なんとなく怖い」、「ギャンブルのようなもの」が高く、「資産運用の一環」、「経済・金融の知識が身につく」、「将来の生活資金の蓄えに役立つ」は低い。

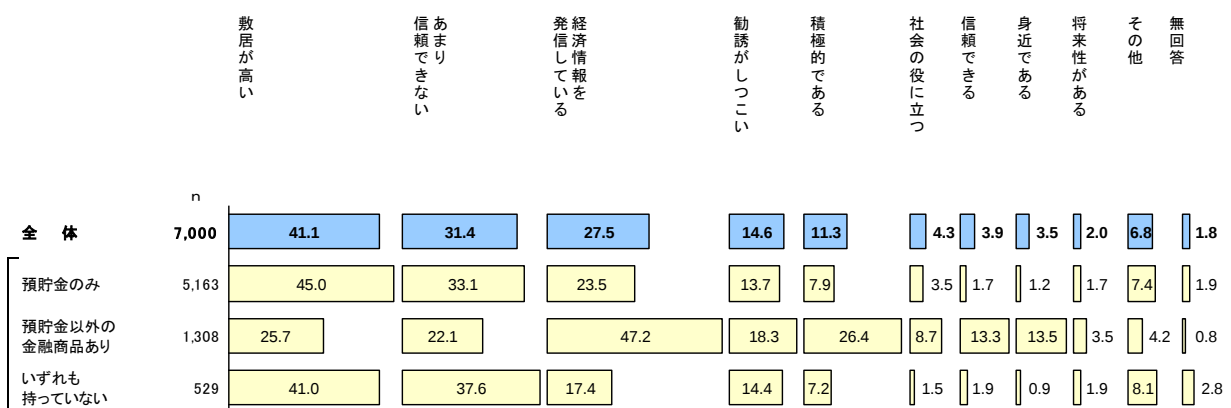
図表 8-17 証券投資全般のイメージ（複数回答）（問 21）



(18) 証券会社のイメージ（問 27）

- 証券会社のイメージは、証券保有層に比べて、預貯金のみ層で「敷居が高い」、「あまり信頼できない」が高く、「経済情報を発信している」、「積極的である」、「社会の役に立つ」、「信頼できる」、「身近である」、「将来性がある」は低い。

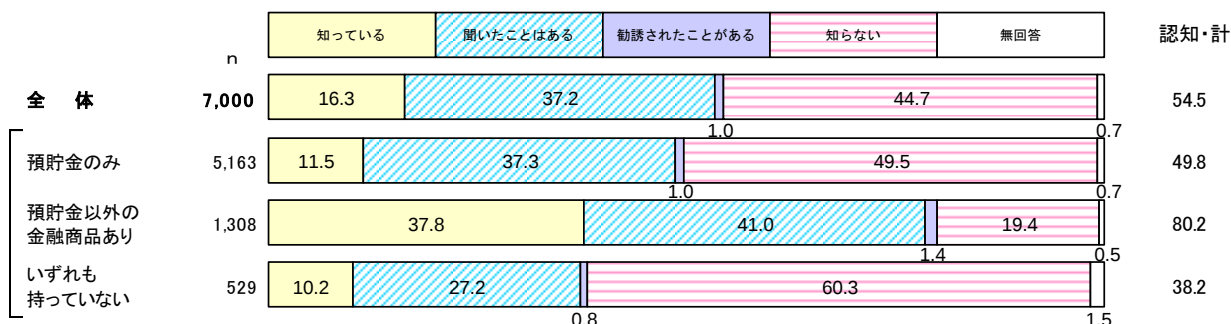
図表 8-18 証券会社のイメージ（複数回答）（問 27）



(19) 「未公開株・社債などの詐欺」の認知度（問 24）

- 「未公開株・社債などの詐欺」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 30 ポイント程度の差がある。

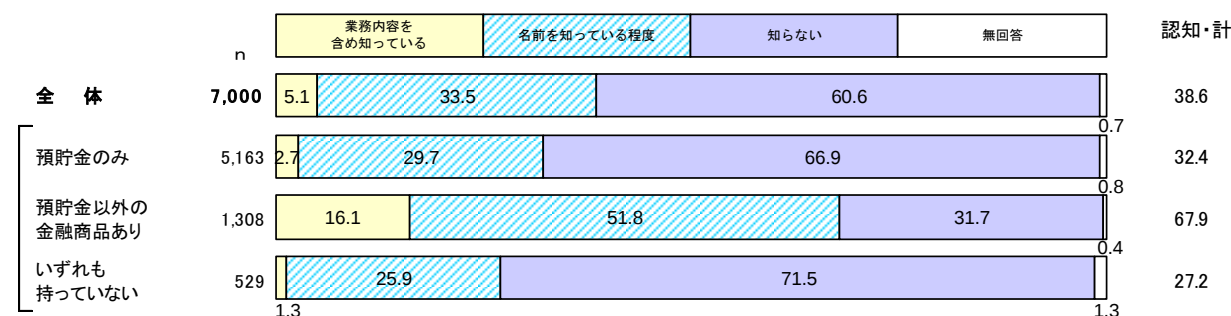
図表 8-19 「未公開株・社債などの詐欺」の認知度（問 24）



(20) 「証券取引等監視委員会」の認知度（問 25）

- 「証券取引等監視委員会」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 35 ポイント程度の差がある。

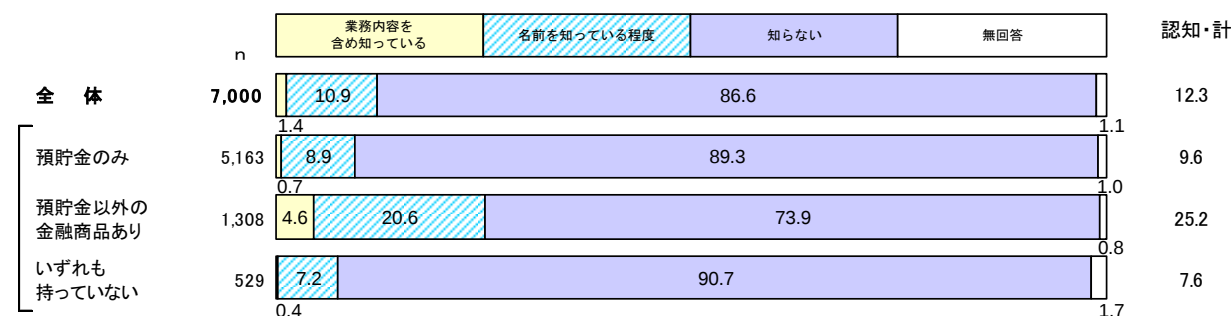
図表 8-20 「証券取引等監視委員会」の認知度（問 25）



(21) 「日本投資者保護基金」の認知度（問 25）

- 「日本投資者保護基金」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 16 ポイント程度の差がある。

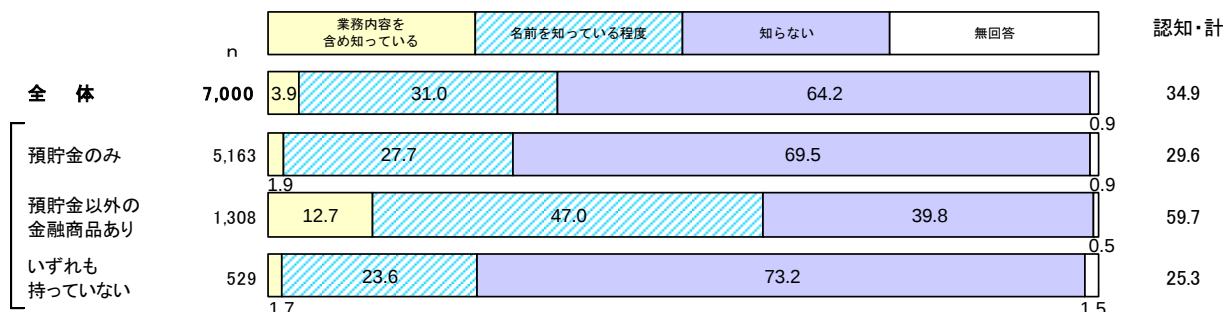
図表 8-21 「日本投資者保護基金」の認知度（問 25）



(22) 「日本証券業協会」の認知度（問 25）

- 「日本証券業協会」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 30 ポイント程度の差がある。

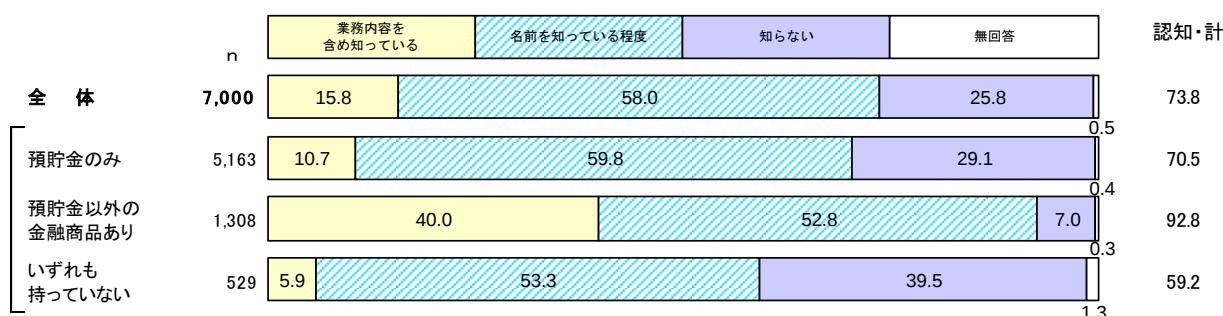
図表 8-22 「日本証券業協会」の認知度（問 25）



(23) 「東京証券取引所」の認知度（問 25）

- 「東京証券取引所」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 22 ポイント程度の差がある。

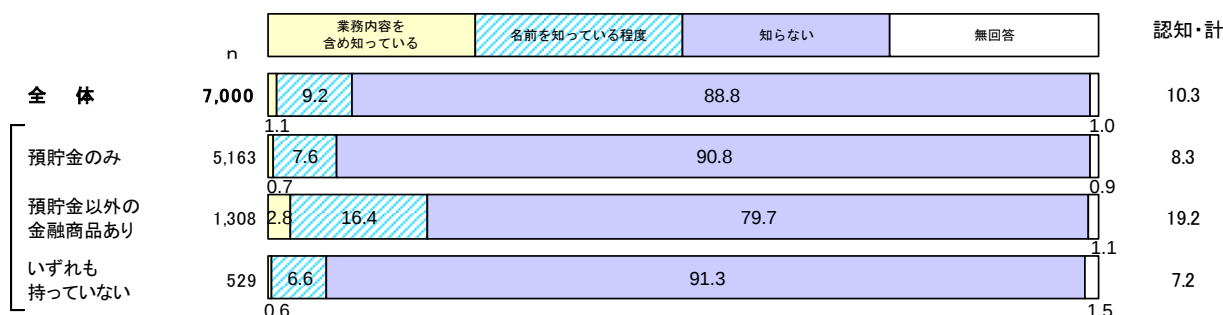
図表 8-23 「東京証券取引所」の認知度（問 25）



(24) 「証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）」の認知度（問 25）

- 「証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 11 ポイント程度の差がある。

図表 8-24 「証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）」の認知度（問 25）



(25) N I S A 認知 (問 11)

- NISA に関して、預貯金のみ層では「知らない」が半数以上を占め、証券保有層に比べて高い。

図表 8-25 N I S A 認知 (問 11)

